



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26-9

電話番号：0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場:Fax 兼用 0187-68-2381)

U R L：<http://www.daino-hakita-pref.ed.jp>

* 農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

◆農場長より 「卒業生全員が充実した3年間だった」(卒業生190名中 173名回答 小学校助手派遣等のため)

この春卒業する3年生に「農業学習についてのアンケート」に答えてもらった。これは、卒業後「即就農」でなくとも将来的にどれくらい農業に携わるかを調査するものであるが、質問項目13に分かれている。その中で、大曲農業高校での学習や学校生活について①「充実していた(楽しかった)」②「どちらかという充実していた(楽しかった)」③「充実しなかった(楽しくなかった)」に答えてもらう項目がある。今①が115名の66%。②が58名の34%で、③は一人もいなかった。今年度の卒業生は全員「3年間充実した高校生活」を過ごしたことになる。どこの学校でも、いつの年でも少なからず「楽しくなかった」と答える生徒はいるが本校は「0」。農業高校はなかなか中学生や中学校教員に理解されない事が多い。しかし、農業高校の素晴らしさ、充実した学習内容を多くの人に理解してもらいたいものだ。

◆生物工學部門より

現在、蘭の開花がピークを迎えつつあります。寒さに強いデンドロビウムとシンビジウムはもちろん、ファレノプシスやオンシジウム等も開花しています。蘭に興味のある方は是非お問い合わせください。

世界らん展2013に出展しました。地域の皆様をはじめ、多くの人から応援を頂き、初出展にもかかわらず奨励賞を受賞しました。ありがとうございました。



◆大家畜部門より

秋田県では月に一度、第一火曜日に仔牛市場が由利本荘市の総合家畜市場で開催されます。大農は二月のセリで育成牛を購入しました。大農には「だいのうさくら」という牛がいてこれも何かの縁でしょうか新しい牛の名前は「さくらこ」といいます。おしとやかない牛です。

また、三月のセリでは五月に生まれた「大農蒼空」が出荷を迎えます。生まれてすぐ骨折をしたウシですがここまで元気に育ってくれてよかったです。父は話題の義平福です。良い評価を得ることができるといいです。

◆小家畜部門より

新しいひな(一三〇日齢)を三月下旬に導入します。一五〇日齢当たりから産卵を開始しますので、全てのニワトリが産卵を開始するのは五月の連休明けくらいになります。卵を産むと「成鶏」と呼ばれ、大人のニワトリとなります。機会がありましたら、ぜひ大農産卵をご購入ください。

現在、古くなったケージを交換する作業を急ピッチで行い、ひなを迎える準備を進めています。生徒も一緒に頑張っています。

◆花卉部門より

サイネリアが開花し始めました。外は雪でまだ真つ白ですが温室の中はピンクやブルーの花々でとても華やかです。卒業式の前に草花選択のみんなが会場装飾のために頑張ってくれます。今年はどうな会場になるでしょうか。お楽しみに。

◆水田部門より

厳しい冷え込みと大雪の中、水田部門は育苗箱に入れる床土に病気が出ないようにするための薬剤と肥料を混合する作業を行っています。

来年度からは、本校水田部門でも特別栽培米である「大曲花火米」の栽培にも取り組むことになり、先日担当の方々の説明を受けました。慣行栽培より50%の減農薬と有機質肥料の活用により、これまで以上に安全・安心、そして高品質な米作りに取り組んでいきます。



◆施設野菜部門より

育苗用のファイロンハウス内を暖めるカーテンを張替しました。今まで暗かったファイロンハウスの中も明るくなり作業しやすくなりました。来年度へ向けたキュウリの播種作業の準備も進んでいます。

◆食品加工部門より

ペクチンの抽出と利用
柑橘類の果皮の白色部や果汁の絞り粕から、ペクチンの調整ができます。絞り粕や白色部に、苦味を除くために10%食塩水を加え、三十分間煮沸したあと、水洗いし、水切りする。②10倍量の0.1%クエン酸溶液を加え加熱してペクチンを抽出する。③熱いうちに布袋で圧搾し、ペクチン液を得ることが出来る。ペクチンはジャム果汁の0.3～0.4%を添加します。



◆露地野菜部門より

育苗用ハウスを利用して野菜専攻の二年生が二班に分かれてラディッシュの栽培研究をしています。一方はビニールで覆ったトンネル栽培を、他方はプランターによる栽培です。短時間ですがストーブを焚いて少し暖かな環境を作っています。プランター栽培の方は液追肥など細かな管理がなされたため、真冬に直径3cmのものも収穫でき、浅漬けにして皆で試食しました。葉の方も美味しいですよ！

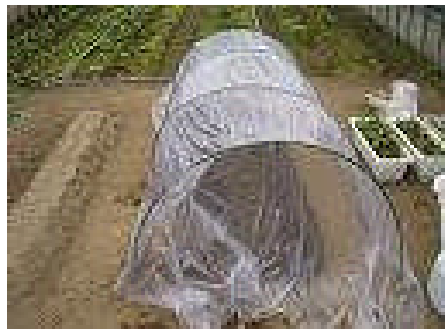
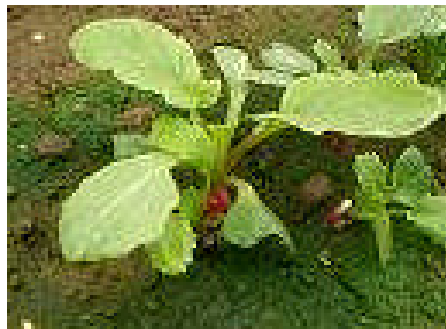
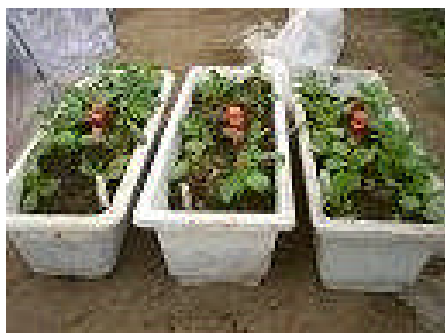
◆中家畜部門より

先週離乳した子ブタ十八頭も事故や怪我なく元気に育っています。
・現在県外へ出荷している本校の肥育豚を次年度以降は「安心安全」「地産地消」を目的として、県内へ出荷する方向で関係者と協議をしています。実現すれば、「今夜の食卓は大農で育った豚のトンカツだよ」という日も来るかもしれません。担当者一同実現に向けて頑張ります。

・生き物が相手の部門ですので毎日の飼養管理も大変ですが、生徒のみなさんにはよく頑張ってもらっています。

◆果樹部門より

今年は豪雪となりました。果樹園の積雪も下の写真の通りです。リンゴのマルバカイドウ台木の樹は、脚立がなければ手が届かないところにあるはずなのですが・・・今年はこのとおりです。夏の猛暑、雨が少なかった影響がここに出てきているとは思いますが、立春、雨水も過ぎた頃ですし、そろそろ三寒四温になってくれればと思います。



◆林業部門より

来年度のシイタケとナメコの種駒を発注し、先日届きました。来年度の豊作を期待して、現在は冷蔵庫の中で熟成中です。来年度の収穫が楽しみです。



編集後記

例年にない大雪に見舞われ、青森県酸ヶ湯では、気象観測史上最高の積雪を更新中です。ここ大農でも、春の足音はもう少しかかりそうです。しかし、必ず春は訪れます。別れの春、出会いの春、人との出会いは一期一会というように、大農で出会った仲間は一生涯の宝となる事でしょう。仲間だけでなく、これまで育ててくれた親に感謝の気持ちを言ってみるのも、高校生活最後の良い『ケジメ』かもしれません。農業も人も感謝の気持ち、助け合うところが良い関係を築く事でしょう。